

2026 年 10 月 16 日

JR 西日本プロパティーズ株式会社

ココファンレジデンス世田谷弦巻 「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞

J R西日本プロパティーズ株式会社（本社：東京都港区芝五丁目 34 番 6 号新田町ビル、代表取締役 小山 健介）が開発した「ココファンレジデンス世田谷弦巻」（介護付き有料老人ホーム）が、このたび 2026 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を運営会社である株式会社学研ココファンと共同受賞しました。

本件は、従前建物である修道会の記憶と、意匠や部材を継承し、周辺に多く見られるブリックスタイルを採用することで、街並みに調和する落ち着いた建築としました。さらに、当社、運営会社、修道会の協働により、入居者と地域住民が世代を超えて関わり、支え合える環境を整えた点が、地域と入居者双方に豊かな時間をもたらす取り組みとして高く評価されました。

当社では引き続き地域貢献に寄与する開発に取り組むとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進します。また、「安全・安心・豊かな暮らし」を実現し、お客様の人生に寄り添い、快適でより良い品質・サービスを提供し、ブランドイメージの向上に務めてまいります。



外観



ロビー



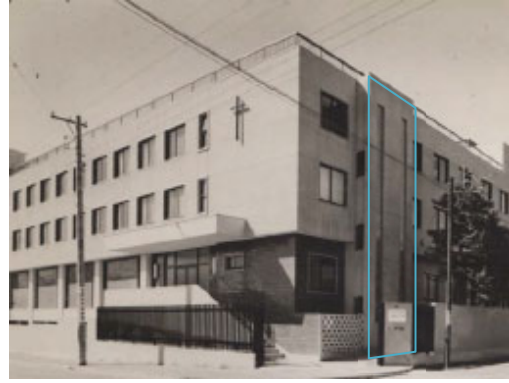
食堂

□ 意匠の継承

建物側面に設けられたスリットのデザインは、かつての修道会の建築を継承し、街の記憶を大切にしながら、現代的で洗練されたサ高住のイメージに再構築した。



外観



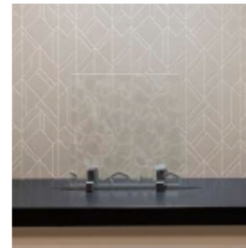
旧建物である修道会の外観

□ 部材の継承

修道会の支援者から寄贈された灯籠を敷地内に保存。ドアに使われていたガラスを、施設の廊下やドライエリアのアクセントとなる装飾品に加工して再利用するなど、修道会の面影とともにその想いを継承した。



左：敷地内に保存した灯籠



右：装飾品として再利用したガラス

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

都市が新陳代謝していく中で、土地の記憶を継承することは、より重要度が高まっているテーマである。このサービス付き高齢者住宅は、かつて敷地にあった修道会の活動拠点を取り込みながら計画したという点で、その現代的なテーマに的確に応えたものである。また高齢者住宅は、とすると閉鎖的な施設になりがちだが、このような活動拠点が併設されることで、高齢者にとっても多様な交流が生み出される可能性が拓けることになる。スケール感を抑えた建築の佇まいと、こうしたプログラムの複合がもたらす相乗効果は、地域にとっても居住者にとっても幸せな時間を提供することになるだろう。

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>



【問い合わせ先】

J R西日本プロパティーズ株式会社 不動産企画部 TEL (03) 6271-9602